

石狩湾系ニシンの漁況予測調査
 （委託元：日本海北部ニシン栽培漁業推進委員会）により実施

後志以北日本海に來遊するニシンの資源評価精度の向上

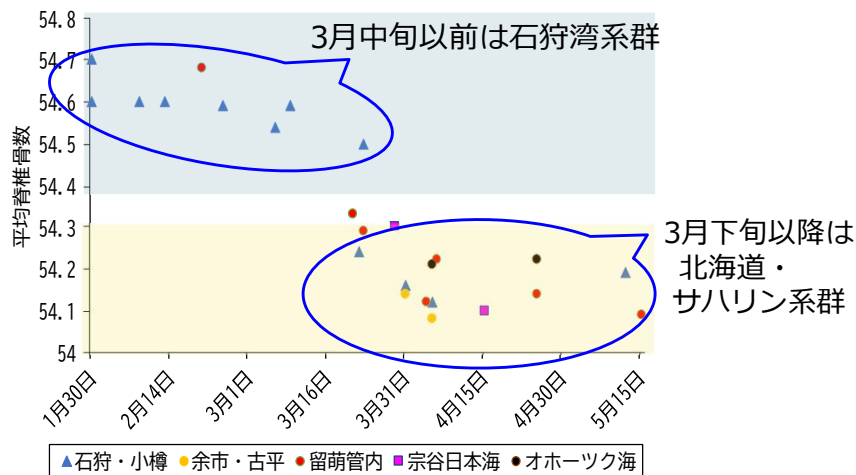
背景

- 2020年頃から増加している4月以降に産卵來遊するニシンの系群判別が資源評価精度の向上のために必要。

※ 系群とは：同じ種でも産卵期や産卵場、分布・回遊パターンなどを異にする集団
 ：資源量の増減パターンが異なるので資源管理は系群単位が基本

成果

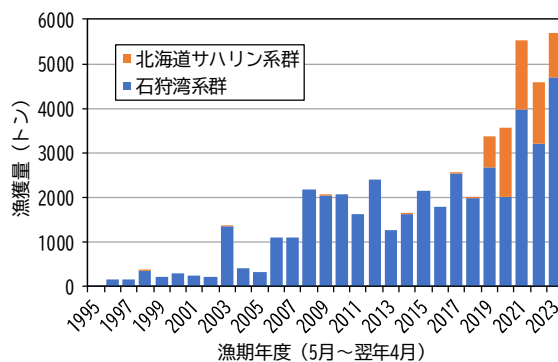
1 系群の入れ替わり時期を確認できた。



※各点は1回の漁獲物標本の脊椎骨数の平均値
 ※例として2023年1～5月の結果。2022年以降どの年も同じ傾向を確認
 ※石狩湾系群：平均が54.4～54.8、北サハリン系群：平均が54.0～54.3

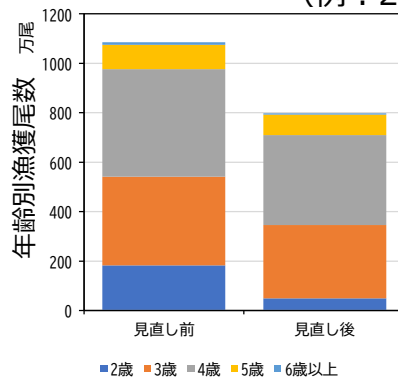
2 資源評価に必要なデータの精度向上。

後志～宗谷管内日本海のニシン漁獲量



※ 系群別の漁獲量データは正確な資源評価の第一歩
 （近年北海道サハリン系群が増加していることが分かった）

石狩湾系群の年齢別漁獲尾数を再推定（例：2020年漁期）



※ 年齢別漁獲尾数は、資源量推定の最重要なデータである
 ※ 従来の石狩湾系群の資源尾数は過大に推定されていたことが分かった

期待される効果

資源量推定を行う上で不可欠なデータを適切に把握。資源量推定や動向予測の精度向上が図られる。